

茨歯技 広報誌

5月号
2023年

令和5年度第1号（通巻133号）
令和5年5月1日 発行



歯の健康づくり



公益社団法人 茨城県歯科技工士会

<模型集配歯科医院訪問時のコロナ感染予防対策について>

普段から感染症予防には十分配慮しているとは思いますが、以下の点に留意して感染予防対策を実施して下さい。

- * 清潔なマスク着用
- * 歯科医院入退出時のアルコール消毒（ハンドスプレー等の携帯）
- * 検温を実施し、体調管理を徹底する
- * 待合室での患者さんとも密にならないよう配慮
- * 模型集配用ボックス等の消毒や清掃

公益社団法人 茨城県歯科技工士会支部地区割



- 県北支部
 北茨城市・高萩市・日立市
 - 珂北支部
 常陸太田市・常陸大宮市・那珂市・ひたちなか市・大子町・東海村
 - 水戸支部
 水戸市・城里町・笠間市・小美玉市・大洗町・茨城町・茨城歯科専門学校
 - 鹿行支部
 鉾田市・鹿嶋市・行方市・潮来市・神栖市
 - 県南支部
 石岡市・かすみがうら市・土浦市・つくば市・つくばみらい市・牛久市・龍ヶ崎市・
 稲敷市・守谷市・取手市・阿見町・利根町・河内町・美浦村
 - 県西支部
 桜川市・筑西市・結城市・下妻市・古河市・坂東市・常総市・八千代町・五霞町・
 境町

目次

5 月号

会の動き

1 模型集配時のコロナ感染予防対策について
(茨城県歯科技工士会)

- 2 支部地区割表
- 3 目 次
- 4 第1回理事会報告
- 5 生涯研修会報告
- 6 歯科医学会報告 (一般口演 長山)
- 7 珂北支部紹介
- 8 首都圏ブロック野球大会参加者募集
- 9 会員の動向

新株オミクロンの感染が広がりをみせていますので、気を緩めることなく感染予防対策をしっかりと行っていきましょう。

茨城県歯科技工士会

E-mail info@iba-shikagikou.jp

Home page <http://iba-shikagikou.jp>

令和5年度社員総会のお知らせ

期日 令和5年6月18日 10時～12時

場所 ボランティア会館ミオス 大研修室

令和5年度 生涯研修会のお知らせ

感染症予防歯科技工士講習会

期日 令和5年9月10日 13時30分～16時30分 ボランティア会館ミオス

水戸市赤塚1丁目1番地 電話 029-309-1001

令和5年度第1回理事会 <報告書>

令和5年 4月 1日 (土) 18時より
於：福祉ボランティア会館ミオス

会長 濱谷公子
副会長 山中 博・長山祥一
専務理事 白澤幸男
理事 松本憲一・熊谷貴仁・倉持 貴・高橋豊人・川崎 邦彦
三代克義・宮崎悦男(欠)
監事 西野雅之・秋野由美
事務局 藤咲 幸子

出席者 13名中 12名
司会進行：会長 濱谷公子

1：会長挨拶

本日から令和5年度に入りました。昨年皆様と一緒に会の運営をしてまいりましたが、あつという間の1年でした。残りの期間焦らずじっくりと進んでいきたいと思っていなすのでご協力お願いいたします。

2：報告事項

1} 会長				
2/ 2 (木)	専門学校運営委員会	於、歯科医師会館		会長
2/ 4 (土)	令和4年度第6回理事会開催	於、福祉会館ミオス		
2/ 9 (木)	8020、6424 県推進部会（リモート）			会長
2/16 (木)	第2回学校関係者評価委員会	於、歯科医師会館		会長
2/21 (火)	宮崎悦男様ご母堂様葬儀参列			会長
2/26 (日)	首都圏ブロック野球連盟役員会（リモート）			専務
3/ 8 (水)	専門学校卒業式 祝電			
3/12 (日)	歯科医学会	於、歯科医師会館	会長、長山副会長	
3/14 (火)	日立市民凧揚げ反省会 監査	於、日立郷土博物館	会長、西野監事	
3/19 (日)	生涯研修会（デジタルでの作業効率化とこれからの デンタルソリューション）講師：中島清史氏	於、福祉会館ミオス		
3/23 (木)	根本義直様ご母堂様葬儀参列			
3/25 (土)	令和5年度事業計画書等を県に提出 (財務)			
2} 各支部・各担当				

広報：次回の広報誌に珂北支部の紹介を載せるので、4月20日までの原稿の提出願います。広報の原稿は広報発行月の前月（理事会開催月）20日までが提出となります。

県西支部：廃業の為1名退会者あり。

支部総会開催予定（日時未定）

県北支部：支部総会開催予定（日時未定）

珂北支部：支部総会開催予定（5月中）
県北支部と連携でデジタル技工の勉強会開催
日時：7月23日（日）
会場：（株）ヘンリーシャインジャパンイースト水戸店
協力：（株）松風

3：議題

第1号議案

総会開催（6／18）準備について 総会資料など

瀬谷会長から例年より開催時期が早くなるため、その準備についての説明があり、前回各役員に配布した総会資料の中で各担当のところでの訂正や修正などの確認を行った。内容変更は5／20日までとし、次回開催理事会（5／27）においても再度精査検討した後に決定することとした。会計監査については早めの日程の調整をして総会に向けての準備を進めることとした。

第2号議案

委員会について（表彰委員会）

瀬谷会長から表彰委員会設置の経緯説明があり、山中氏に引き続きの委員長就任の推薦があった。山中氏の了解のもと満場一致で承認した。後日山中委員長から数名の委員を選出することとし選出の際の協力要請があった。

第3号議案

研修会について

熊谷理事から3月19日開催の生涯研修会についての報告、及び協力のお礼があり今後の研修会予定の説明があった。

9／10（日）感染予防について 講師：東京歯科大 奥田先生

詳細についてはこれから詰めていきます。

（R5）3／24（日）茨城県歯科医学会（対面での開催予定）

歯科医師会、技工学校と連絡を取り合い準備することとした。

その他の議案

防災連絡網作成について

瀬谷会長から茨城県歯科技工士会防災連絡網の内容や確認について説明があり、担当役（職）の明確化などの修正を加えることとなった。又具体的な協力内容などは今後、歯科医師会、歯科衛生士会と協議しながら詰めていくこととした。

卒後研修会について

瀬谷会長から5／14日（10：00～12：00）開催の卒後研修会について研修内容等の説明があった。前回は卒後3年までの募集であったが今回は5年まで延ばしての募集とし、卒後研修ということで、研修内容はいろいろな製作方法を見ることにより各自参考になるよう、前回要望が多かったクラウンブリッヂのワックスアップとした。講師希望を募り推薦で高橋氏、宮崎氏にお願いすることとした。

義歯刻名について

三代理事からコロナが落ち着き始めたので活動再開に向け今後の準備についての説明があった。歯科医師会、歯科衛生士会の協力を得ながら少しづつ活動回数を多くしていくこととし本年度は、コロナの影響もまだ残っている為、1～2か所の施設としインフ

ルエンザ流行前までに実施の予定とした。

首都圏ブロック野球連盟野球大会について

白澤理事から首都圏ブロックでの野球大会について、役員会（2／26）で（競技内容、開催場所、開催日時等）の報告があり、茨城県での競技参加希望者の募集について説明があった。又参加希望者については総会までに声掛けの要請があった。

開催日時：9月18日（月、祝）8：00開会式～12：00頃まで

場所：三郷亀信グラウンド

広報とタイアップでの企画について

長山学術委員から広報とタイアップで、義歯に関しての連続開催の模索について説明があった。具体的にはSNSや広報誌の特徴を踏まえ、掲載方法、内容など長山委員が主導で準備を進めることとした。又茨城県歯科医学会への会員発表を進める広報活動の提案として、技工士会会員が発表した抄録や資料を掲載し、次回会員の発表に役立てるような内容にすることとした。

監事所見

西野監事

コロナの落ち着きに合わせ対面での活動になってきますが、一步ずつ歩んで次年度に続けてください。

秋野監事

コロナ収束に伴い、以前と同じような活動を期待しています。

生涯研修会報告

学術担当 熊谷貴仁

「デジタルでの作業効率化とこれからのデジタルソリューション」

去る、3月19日（日）、上記演題にて本県在住の中島清史氏の講演会を開催した。

茨城県を代表すると言っても過言ではない中島氏にこの度は生涯研修会講師をお願いし、これから来るであろう技工士不足問題にデジタルでの改善策、作業効率化など中島氏の観点からのお話とジルコニアによるケースプレゼンテーションでマテリアルの選択の大切さなどの説明を受けました。

また、これから間違なく必要となってくるデジタルをどの様にラボに取り入れていくのか、安価な機械ではないので手を出すのには、躊躇される方も多いと思います。

一番の問題は、購入者が中島氏の様に順調に収益を出せるとも限らない。保険技工料金の問題もここに関わってくるし、個々の探究心も必要になってくると思われる。

本会としては料金問題は対応できないが、今後のIOS対策としての対応は会員からの要望があれば研修会を企画していこうと思っている。

歯科医学会報告

瀬谷公子

去る、2023年3月12日（日）、茨城県歯科医師会館に於いて第31回茨城県歯科医学会が開催されました。

本学会の趣旨である「会員のための会員で創る歯科医学会」をコンセプトに開催され、今年も又、先生方並びに関係者による学術中心の学会、ハイブリッド方式開催で行なわれました。

技工士会からは、会長と発表者のみの参加となりましたので、会員として一般口演の発表をされた会員長山祥一さん（有床義歯製作における人工歯排列の考慮点）・上野俊将さん（歯科用 CAD/CAM における IOS の精度比較）について、広報誌上に掲載させていただくことにいたしました。

今回は、長山祥一さんです。次回 7月号に上野俊将さんの誌上発表をさせていただく予定です。

第31回茨城県歯科医学会



日時 2023年3月12日（日）

会場 茨城県歯科医師会館

主催：(公社)茨城県歯科医師会

協賛：(公社)茨城県歯科衛生士会
(公社)茨城県歯科技工士会

後援：茨城県 水戸市
(一社)茨城県医師会 (公社)茨城県薬剤師会
(公社)茨城県看護協会 (公社)茨城県栄養士会
茨城県食生活改善推進員協議会 (株)茨城新聞社
朝日新聞水戸総局 (株)茨城放送 (順不同)

一般口演 「有床義歯製作における人工歯排列の考慮点」

会員 長山祥一

3月12日（日）に茨城県歯科医師会主催の第31回歯科医学会に瀬谷会長と共に参加してきました。コロナ禍で参加は限定的に発表者の他は歯科医師会関係者のみでした。歯科技工士として、日常の仕事から色々な疑問があり、技術の研鑽や情報収集には興味を持っているので、今回は、近所の歯科医師会会員の先生のご協力を得て「有床義歯製作における人工歯排列の考慮点」の演題で発表してきました。以下講演した内容を報告します。

↓抄録

IOS 使用した CAD/CAM 技工が進歩する時代で、歯科補綴物は、より精度良く効率良く、着実にデジタル技工の要求が多くなってきてている。義歯製作に関しては、総義歯とデジタルプリンターを使った維持装置などは製作可能であるが、日常多くの歯科技工士が関わるまでには、しばらく時間がかかりそうである。

義歯製作において、30 年以上前の学生時代に習った人工歯排列法は歯槽頂間線の法則やフルバランスドオクルージョンであったが、近年出版の書籍等では、臨床で術者や患者が活用しやすい方法になっているように思われる。

今回はデジタルでなく、アナログな義歯製作の人工歯排列について、臨床での注意している点を話をしてみたいと思います。

↓発表スライド一部



↓事後抄録

緒言から 2つの人工歯排列法を 3つのケースで比較する

- ① 生体ランドマークを頼りに歯牙も元あたった場所に並べるように心掛け、前歯はヨーロッパナゾロジーの考え方で犬歯ガイドを付与し、臼歯の接触関係は上顎舌側咬頭を機能咬頭にして下顎臼歯に点で接触させるようする。書籍などを参考に歯科医師と相談し患者重視の義歯製作を目指す。
- ② 専門学生時代に習った総義歯の排列法の歯槽頂間線の法則とフルバランスドオクルージョンで基本的に排列する。

ケース1 78歳2か月女性患者で口腔がん発症した経緯あり。①生体ランドマークを基本に排列②臼歯は下顎骨の吸収が大きくクロスバイトになる。患者の咬合力が高くなく排列の接触もそれほど差がないとなる。

ケース2 70歳男性患者で古く義歯を長年使用して摩耗し新義歯製作希望。①生体ランドマークを基本に排列②上下顎骨の吸収が大きく①の排列よりは口蓋、舌側に寄り排列の幅は狭くなる。患者は①の総義歯使用を選択。

ケース3 88歳男性患者で上下顎間関係からアングルの分類のクラスIIIと判断。①前歯などはクロスにせずに下顎のランドマークを主体として上顎の排列を試みる②歯槽頂間線の法則とフルバランスドオクルージョンで基本的クロスの排列になる。患者は試適時に①の義歯を選択。

まとめ：歯科技工士は義歯の人工歯排列や咬合だけでなく、歯科医師との共同作業により患者に対しての満足度を上げる総義歯提供ができるることを知ることができ、特に機械を使ったデーターで可視化したバイトからの咬合調整により総義歯の咬合の精度が上がり患者 QOL の向上に寄与できたことが何よりと思う。ギージーのフルバランスドオクルージョンは大きな接触関係が必要であるのが機械を使うことで可視化でき、使用患者にはその関係が不都合であるように感じた。小さい咬合接触面積でコンタクトさせることで左右シンメトリーの咬合関係性が優位に作ることが容易であるように思える。パウンドらの考えるニュートラルゾーンでの口腔周囲筋などからの人工歯ポジションは3ケースの中でも患者が捉える評価することができた。歯槽頂間線になると上下顎歯槽頂を狙い排列するために口蓋並びに舌側に並ぶので舌の運動の阻害するためか3ケースのうち2ケースでは選択されなかった。デジタルでの歯科医療の具現化の中で、今回の機械（GC 社バイトアイ）は咬合を把握し利用する点で従来の咬合紙などと同様に有効であると思われる。

以上、今回に発表した講演内容です。色々な排列方法理論や臨床活用法等があります。しかし、使用する患者が使いやすい義歯排列を具現化できることを知ることが出来ました。もし興味があれば機会を作り説明しますし、製作資料が欲しい方があれば提供いたしますので県歯科技工士会または長山まで連絡下さい。

茨城県歯科医学会は県歯科医師会が行っています。歯科医師会として県歯科技工士会並びに県歯科衛生士会へ発表の門戸を開いています。次号では発表する方法を説明したく思います。そして、多くの発表者で県歯科界のレベルの向上による県民の歯科医療、福祉に貢献できることを望むところであります。



珂北支部紹介

支部長 根本 義直

珂北支部の構成は、男性 7 名・女性 2 名

大子町・常陸大宮市・常陸太田市・那珂市・ひたちなか市・東海村の地域となります。

支部の中で面積に対して少な目な人数は否めませんが、名誉会員や日技の広報委員、県技役員の方、県外にも仕事の拠点がある方、CAD/CAM 所有の方など少人数ながらバイタリティーのある方々がおられる支部だと思っています。

過去には、支部にて勉強会を行うこともありました。コロナの影響もあり近年は支部活動も少ない時期でしたが、BBQ やインプラントの勉強会を行いました。

(下記写真)また 7 月 23 日、県北支部と共にデジタル系の勉強会を予定しております。詳細は珂北支部、長山・根本までお願い致します。

少人数ならではの動きやすさもありますが、支部会員の新規入会を強く望む所でもあります。義歯刻名にては、他支部の方々には毎回お手伝い頂きありがとうございます。今後とも支部の連携をお願い致します。



学術担当・長山 090-1253-4280

・根本 090-1882-3630

首都圏ブロック野球大会参加者募集

コロナも一段落し恒例になっています野球大会を開催することになりました。皆様の参加を募集します。

開催日時：9月18日（月.祝日）8：00～12：00頃

場所　　：三郷亀信グランド

参加希望、内容照会当詳細について専務理事、白澤までお願いします。

会 員 の 動 向

○ 訃報のお知らせ

県南支部 宮崎悦男様のご母堂様 (令和5年2月)

珂北支部 根本義直様のご母堂様 (令和5年3月)

謹んでお悔やみ申し上げます。

※ 財務委員会からのお知らせ

次回の会費の口座引き落とし日は 7月27日です。

残高の確認を宜しくお願ひいたします。

**Good Teeth,
Better Life**

Henry S. Saxe
J-East ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社

金精産業のトータルサポートカンパニー
<https://www.hseast.com/>

ほんとに地球にやさしい会社です

ISO9002認証取得
日本地金流通協会正規会員

「貴金属の分析・産業廃棄物処理は
茨城県技工士会指定の当社へ」

お問合せ、ご用命は

アサヒプリテック株式会社

北関東営業所
〒345-0023 埼玉県北葛飾郡杉戸町本郷東中616
TEL 0450-33-4393 / FAX 0480-33-4423

（社）日本地金流通協会正会員
貴金属リサイクルと産業廃棄物処理は、
エキスパートの相田化学に
おまかせください。

相田化学工業株式会社

URL www.saito.jp E-mail saito@saito.jp

本社：〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
TEL:042-366-1201(専科営業部直通)

広告の掲載募集中
申し込み詳細は本会事務局に
電話してください



読者の皆様のご意見、ご感想、ご要望を
お寄せください。

茨歯技広報誌 5月号

令和5年5月1日発行（第133号）

編集発行所

公益社団法人 茨城県歯科技工士会

〒311-4152

茨城県水戸市河和田2丁目1714-3

TEL. 029-291-5100

FAX. 029-291-5111

Home page

<http://iba-shikagikou.jp>

E-mail

info@iba-shikagikou.jp

発行人：瀬谷 公子

編集責任：白澤 幸男 松本憲一

他県技役員一同

印刷所：茨城県歯科技工士会事務所